

特別講座 「顔料と膠—日本と西洋を俯瞰する—」

受講者募集

本講座では、京都芸術大学・大学院教授の青木芳昭氏をお迎えし、古くから日本の絵画に用いられてきた顔料および膠の歴史を、日本と西洋を俯瞰しながら幅広くご紹介いただきます。さらに今回は、文具や顔料のメーカー各社からのご協力により、顔料とそれに関連する環境問題についても詳しく教えていただきます。

古来の製法で作られた顔料と膠は、現代生産されているものと発色や表現のしかたが大きく異なります。本講座では実際に貴重な画材を用いて筆で描いてみることで、それぞれの描き心地や風合いのちがい・素材の歴史を体感していただけます。絵画の材料への理解が深まるだけでなく作品の見方がかわる、普段は体験することのできない水墨美術館ならではの特別講座です。

日 時：令和6年3月24日（日）午後2時～4時頃

場 所：富山県水墨美術館 映像ホールなど

講 師：青木芳昭氏（京都芸術大学・大学院教授）

野田盛弘氏（(株)呉竹）

吉野誠氏（(株)呉竹）

対 象：一般（高校生以上）

申込開始：1/4（木）

申込方法：電話（開館日の 午前9時30分～午後5時に限る）又はFAXでお申し込みください。

（特別講座受講希望の旨、お名前、ご連絡先をお伝えください。）

※休館日（月曜日、1/9（火）、2/6（火）～3/14（木））はFAXのみ受け付けます。

定 員：20人（先着順に受け付けます。）

参加費：無料

主 催：富山県水墨美術館、（公財）富山県文化振興財団、富山県水墨美術館友の会

協 賛：（株）呉竹、（株）ナカガワ胡粉絵具、アワガミファクトリー（敬称略、順不同）

助 成：一般財団法人地域創造

■講師紹介 青木芳昭（あおき よしあき）氏

1953年茨城県生まれ。1976年パリ留学、ル・サロン名誉賞受賞。1977年中央美術研究所主宰（2013年退職）。1991年東京セントラル美術館油絵大賞展出品。1996年銀座資生堂ギャラリー個展（その他個展多数）。1999年美術研究所兼ギャラリー「アカデミア・プラトニカ」を設立・代表。2007年京都造形芸術大学客員教授。2011年京都造形芸術大学教授、「よくわかる今の絵画材料」出版、元・京都技法材料研究会会長。現在、京都芸術大学・大学院教授。



お問い合わせ・お申込み先 富山県水墨美術館

〒930-0887 富山県富山市五福 777 TEL：(076)431-3719 FAX：(076)431-3720